



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社イーディーピー 上場取引所 東  
コード番号 7794 URL https://www.d-edp.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤森 直治  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼総務部長 (氏名) 高岸 秀滋 TEL 06-6170-3871  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	499	△76.3	△236	—	△156	—	△170	—
2023年3月期第3四半期	2,103	89.4	1,056	172.7	1,047	166.9	727	154.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△13.02	—
2023年3月期第3四半期	58.80	56.06

- （注）1. 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2022年6月27日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から2023年3月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。
3. 2023年2月10日開催の取締役会決議に基づき、2023年4月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,275	4,791	90.8
2023年3月期	6,016	4,930	82.0

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 4,791百万円 2023年3月期 4,930百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	742	△72.6	△370	—	△290	—	△265	—	△20.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	13,135,400株	2023年3月期	13,122,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	385株	2023年3月期	385株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	13,130,746株	2023年3月期3Q	12,365,981株

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年2月14日(水)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算説明資料については、同日にTDnetで開示するとともに、当社ホームページ (<https://www.d-edp.jp>) にも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻による戦況が膠着状態となり、引き続き世界経済に影響を与えました。一方、2023年10月7日に攻撃が始まった、パレスチナとイスラエルの紛争で、エネルギー価格の高騰が心配されましたが、中国経済の停滞状況もあって、大きな変化はありませんでした。インフレ抑制のための各国の政策金利の上昇は、上昇のペースが落ちたこともあり、米国景気への影響はほとんどなく、世界の景気状況に大きな動きはありませんでした。

当社製品の主要なビジネス分野であるLGD市場は、当第3四半期累計期間において引き続き市場規模が拡大しております。イスラエルには当社の大口ユーザーがあり、上記の中東での紛争がその操業に大きな影響を与えました。それまでは、当第3四半期会計期間より大口ユーザーの発注が以前のレベルに戻るとの予測を行っていましたが、それが実現するような状況ではなくなり、当社は計画していた出荷ができませんでした。

LGD製造企業の中で、インド企業がその生産能力を大きく拡大しており、これによって小型宝石出荷量が拡大した状況に変化はありませんでした。この結果、LGD価格の低下傾向は継続しており、他の地域のLGD企業が困難な状況に陥っていると見られます。インドにおいては種結晶価格の低下が著しく、当社も価格情報を入手して、対応を進めております。こうした情勢の下、種結晶の売上は、前年同期比で大幅な減少となりました。しかし、大型種結晶の需要の増加は顕著であり、新たなビジネスにつなげるため、当社は2023年8月に13x13mm及び14x14mm種結晶を発売いたしました。また、2023年11月には15x15mm種結晶も発売し、合わせて大型宝石製作のための種結晶をラインアップいたしました。

ダイヤモンドデバイス開発は、世界中で活発に取り組みされており、電気自動車のパワー制御や、量子コンピューターとしての応用が期待されております。日本及び世界各国にダイヤモンドデバイスの開発に取り組む企業が誕生し、各国の開発支援策も整ってきました。当社は創立当初からダイヤモンドデバイスの開発に資する各種基板、ウエハを出荷してきましたが、パワーデバイスの開発を後押しすべく、2023年8月には低抵抗基板の実用化を公表し、当該基板の販売を開始いたしました。大学や研究所だけでなく、世界各地のベンチャー企業からも基板やウエハの受注は順調に推移いたしました。こうした情勢の下、これらの受注が第4四半期会計期間の売上に寄与することは確実な情勢です。

一方、これまでの為替の円安傾向は、当第3四半期会計期間においては逆行傾向が見られました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は499,550千円（前年同期比76.3%減）、営業損失は236,630千円（前年同期は1,056,127千円の営業利益）、経常損失は156,696千円（前年同期は1,047,839千円の経常利益）、繰延税金資産の取崩しの影響により、四半期純損失は170,923千円（前年同期は727,170千円の四半期純利益）となりました。また、当第3四半期累計期間の製品種類別の売上高は、種結晶380,415千円（前年同期比81.2%減）、基板及びウエハは82,067千円（前年同期比126.8%増）、光学系及びヒートシンクは23,383千円（前年同期比12.8%減）、工具素材は13,684千円（前年同期比15.2%減）となりました。

なお、当社はダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は5,275,498千円となり、前事業年度末に比べ740,958千円減少いたしました。これは主に、一時的に製品等の輸出取引を保留したことにより、現金及び預金が1,399,798千円減少したものの、製品が349,217千円、有形固定資産が382,058千円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は484,430千円となり、前事業年度末に比べ601,523千円減少いたしました。これは主に長期借入金（1年内返済予定を含む）が96,103千円、未払法人税等が365,374千円、役員賞与引当金が25,000千円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は4,791,068千円となり、前事業年度末に比べ139,434千円減少いたしました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行により資本金が15,744千円、資本準備金が15,744千円増加したこと、四半期純損失計上により利益剰余金が170,923千円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2024年2月9日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的で

あると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,239,570	839,771
売掛金	229,085	54,870
製品	80,321	429,538
仕掛品	335,087	415,044
貯蔵品	40,200	73,440
その他	37,979	47,649
流動資産合計	2,962,243	1,860,315
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	925,731	954,718
機械及び装置（純額）	1,976,663	2,345,767
その他（純額）	63,117	47,085
有形固定資産合計	2,965,512	3,347,570
無形固定資産	6,270	5,085
投資その他の資産	82,430	62,526
固定資産合計	3,054,213	3,415,183
資産合計	6,016,457	5,275,498
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,089	3,629
1年内返済予定の長期借入金	118,424	87,499
未払法人税等	371,342	5,968
賞与引当金	22,438	6,141
役員賞与引当金	25,000	—
その他	180,250	97,239
流動負債合計	740,545	200,478
固定負債		
長期借入金	231,630	166,452
退職給付引当金	10,874	14,040
資産除去債務	102,904	103,459
固定負債合計	345,409	283,952
負債合計	1,085,954	484,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,483,815	1,499,559
資本剰余金	2,013,415	2,029,159
利益剰余金	1,434,947	1,264,023
自己株式	△1,674	△1,674
株主資本合計	4,930,502	4,791,068
純資産合計	4,930,502	4,791,068
負債純資産合計	6,016,457	5,275,498

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,103,471	499,550
売上原価	655,922	301,074
売上総利益	1,447,548	198,475
販売費及び一般管理費	391,420	435,106
営業利益又は営業損失(△)	1,056,127	△236,630
営業外収益		
為替差益	22,647	77,085
その他	548	8,501
営業外収益合計	23,196	85,586
営業外費用		
支払利息	2,893	2,033
上場関連費用	11,222	—
株式交付費	14,670	648
支払手数料	399	2,220
その他	2,298	750
営業外費用合計	31,483	5,652
経常利益又は経常損失(△)	1,047,839	△156,696
特別利益		
固定資産売却益	—	13,348
特別利益合計	—	13,348
特別損失		
固定資産除却損	27	2,675
特別損失合計	27	2,675
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,047,812	△146,023
法人税、住民税及び事業税	315,551	△665
法人税等調整額	5,089	25,566
法人税等合計	320,641	24,900
四半期純利益又は四半期純損失(△)	727,170	△170,923

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(輸出貿易管理令の一部を改正する政令の施行による影響について)

経済産業省は、経済安全保障強化のため、「輸出貿易管理令の一部を改正する政令」を制定し、2022年12月6日に施行されました。その中に規制対象として半導体基板としての三酸化二ガリウムとダイヤモンドが追加されました。当社は、研究用基板のみならず主力製品の種結晶等についても、改正直後から関係機関や当局とコミュニケーションをとり、改正後の法令に則した対応等について確認を行ってまいりました。

2023年4月以降、同時点で当局の判断が未到着の状況であったため、一時的に種結晶製品等の輸出取引を保留しておりましたが、その後も当局とのコミュニケーションを継続する中で、2023年6月下旬から改正後の法令に則した輸出申請を開始し、7月以降には、順次輸出許可を得ており、出荷を開始しております。

今後も、当局とはコミュニケーションを継続して、法令に則した輸出を行ってまいります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社は、ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

当社は、ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。



(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2023年12月21日開催の取締役会において、以下の通り子会社を設立することを決議し、2024年1月16日に設立いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、ダイヤモンド単結晶を素材として販売してまいりました。ダイヤモンドは様々な優れた特性を有し、応用の可能性のある分野は多岐に渡ります。このようなダイヤモンドの特長を活かすためには、様々な技術や知識が必要で、そのためには他社や他機関との連携を深めてゆく必要があります。

そこで、子会社を立ち上げ、新たな応用製品について積極的に対応することといたしました。この子会社を核として、応用に関わる技術を開発あるいは導入し、製品に適用いたします。このために、様々な企業や機関と連携し、共同開発や一部工程の委託などを通じ、これまでには出来なかった幅広い応用に対応することを目的としています。

2. 子会社の概要

(1)	名 称	エス・エフ・ディー株式会社	
(2)	所 在 地	大阪府茨木市島四丁目26番6号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤森 直治 (当社代表取締役社長)	
(4)	事 業 内 容	ダイヤモンドの応用製品の開発、製造、販売	
(5)	資 本 金	1,000万円	
(6)	設 立 年 月 日	2024年1月16日	
(7)	決 算 期	3月末	
(8)	当 社 と 当 該 会 社 と の 関 係	資本関係	当社が100%出資の子会社として設立いたしました。
		人的関係	当社の代表取締役が、当該子会社の代表取締役を兼任しております。
		取引関係	子会社は当社のダイヤモンド素材を、応用に適した形態に加工したり、必要な材料を付加する等の対応を行い、製品とします。当社のダイヤモンド単結晶素材を購入する見込みです。